

# 令和4年コウナゴ曳網調査結果 NO.5

令和4年2月15日  
福島県水産海洋研究センター

## 調査方法

- ・ 調査指導船「いわき丸」で2月7日に相馬海域にてコウナゴ調査を行いました。
- ・ 調査点は以下のとおりです。  
相馬海域：北緯37°50'、東経141°2'～141°6' の2点
- ・ 新稚魚ネットで表層を10分間曳網しました。

## 結果

- ・ 相馬海域ではコウナゴが45尾採捕されました(図1)。コウナゴが不漁となった近年の中では採捕数は多めでしたが、コウナゴ漁が行われていた頃に比べると低い水準が続いています(図2)。
- ・ 採捕されたコウナゴは全長5.1～10.9mm、平均は6.6mmでした。

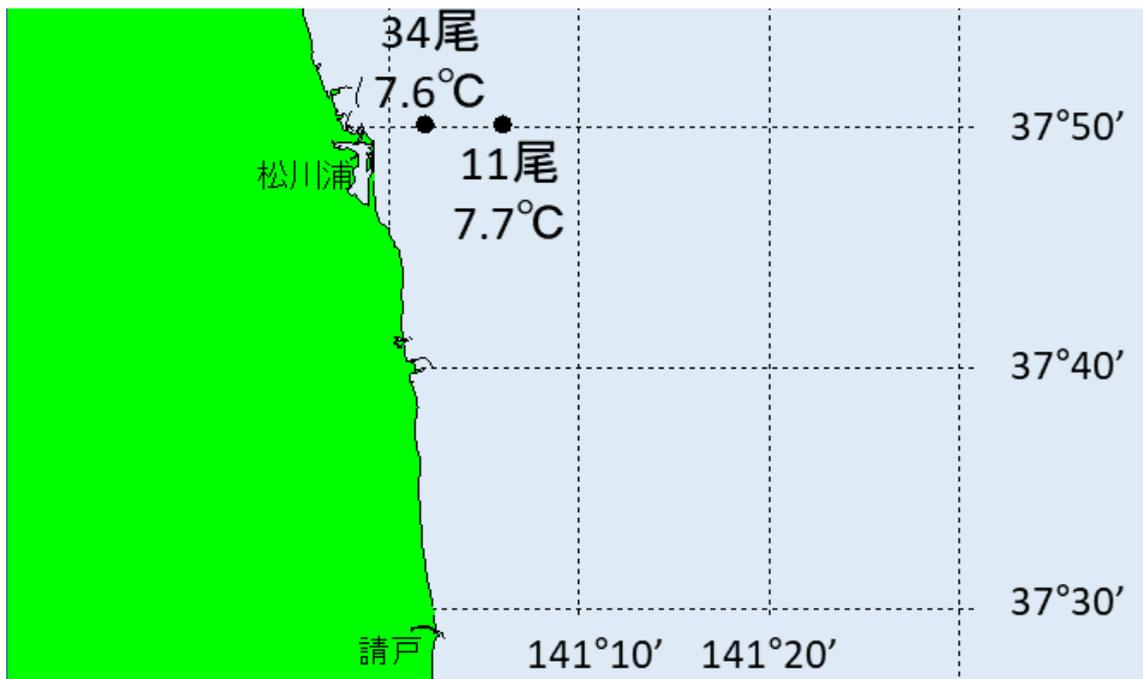


図1 コウナゴ採捕尾数

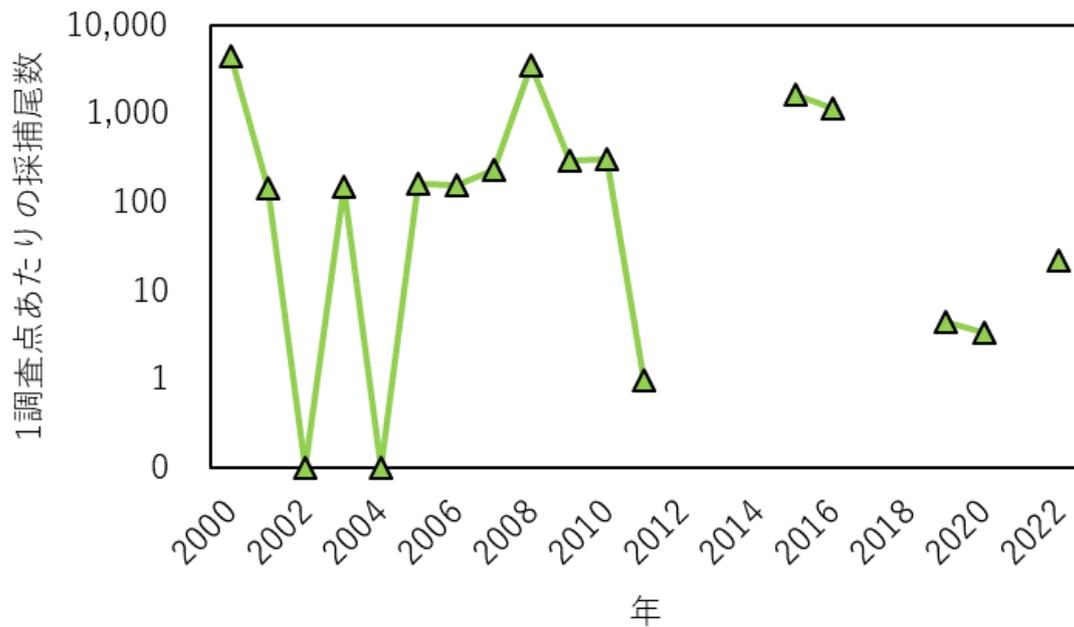


図2 新稚魚ネットによるコウナゴ採捕尾数の年推移  
(相馬海域 2月)

#### 新稚魚ネットについて

新稚魚ネットの構造は以下の模式図のとおりです。各調査地点において、表層を曳網船速2ノット程度で10分間曳網しております。

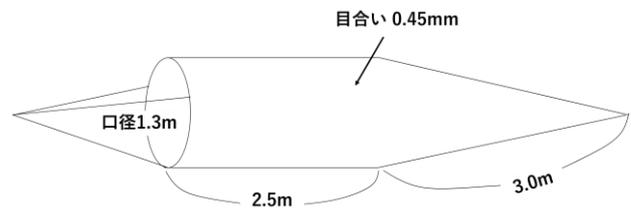


図3 新稚魚ネットの模式図

福島県水産海洋研究センターホームページにてカラーの画像を掲載しています  
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37380b/kounago.html>